



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 フジッコ株式会社

コード番号 2908 URL <http://www.fujiico.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 奥平 武則

TEL 078-303-5921

四半期報告書提出予定日 平成29年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	46,849	3.5	4,565	9.1	4,870	7.4	3,298	△0.9
28年3月期第3四半期	45,272	3.8	4,185	17.7	4,535	18.9	3,330	31.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 3,265百万円 (△9.2%) 28年3月期第3四半期 3,596百万円 (18.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	110.42	110.34
28年3月期第3四半期	110.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	75,021	60,440	80.5
28年3月期	70,003	58,110	83.0

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 60,381百万円 28年3月期 58,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
29年3月期	—	17.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	61,350	4.5	5,100	2.5	5,400	0.4	3,700	△5.6	123.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 一社 (社名) 、 除外 2社 (社名) フジコン食品株式会社及びフジッコフーズ株式会社
 (注) 詳細は四半期決算短信(添付資料)3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	34,991,521 株	28年3月期	34,991,521 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	5,111,640 株	28年3月期	5,119,917 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	29,874,918 株	28年3月期3Q	30,104,476 株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)導入において設定した資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式数(106,800株)が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式には、「株式給付信託(J-ESOP)導入において設定した資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式の期中平均株式数(106,800株)が含まれております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
(1) 販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性やそれに伴う株価・為替の変動があり不透明な状況が続きましたが、一方で政府や日銀の経済政策及び金融政策による雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。

食品業界においては、個人消費には持ち直しの動きが見られました。また、健康志向の高まりや増加する共働き世帯及び単身世帯の簡便・個食需要など多様化する消費者ニーズへの対応が求められました。

このような環境の中、当グループにおいては、年間を通じて最大の繁忙月である12月商戦に注力するとともに、全社を挙げてコストダウン活動に取り組みました。

売上高は、昆布製品が前年実績をわずかに下回りましたが、ヨーグルト製品、惣菜製品、豆製品、デザート製品が前年実績を上回ったことから、468億49百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

利益面では、営業利益は45億65百万円（前年同四半期比9.1%増）、経常利益は48億70百万円（前年同四半期比7.4%増）となりましたが、前第3四半期連結累計期間に投資有価証券売却益を特別利益として計上した影響が大きく、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は32億98百万円（前年同四半期比0.9%減）と前年実績には及びませんでした。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

惣菜製品は、日配惣菜の伸長とともに、包装惣菜では少量タイプの「おかず畑ミニ」シリーズが大幅に伸長したことから、惣菜製品全体の売上高は堅調に推移しました。

昆布製品は、塩こんぶやとろろ昆布が伸長しましたが、売上規模が大きな佃煮の不足額をカバーするには至らず、昆布製品全体の売上高は前年比99.4%と前年実績をわずかに下回る結果となりました。

豆製品は、個食ニーズに対応した食べきりタイプの「おまめさん 豆小鉢」が大きく伸長し、「そのままがおいしい蒸し大豆」をはじめ機能性表示食品を3品まで拡充した水煮・蒸し豆「ビーンズキッチン」シリーズが大きく伸長したことから、豆製品全体の売上高は前年実績を上回りました。

ヨーグルト製品は、平成27年11月から平成28年2月までの期間に量販チャネル等の「カスピ海ヨーグルト」シリーズを一時生産休止していたため、前年実績を大きく上回る結果となりました。また、通信販売チャネルのサプリメント「善玉菌のチカラ」も引き続き2桁伸長を続けております。

デザート製品は、競争激化により依然として厳しい市場環境が続いておりますが、主力品目の拡販に注力し、売上高は前年実績を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて50億18百万円増加し、750億21百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加によるものです。

流動負債は、前連結会計年度末と比べて27億30百万円増加し、126億46百万円となりました。これは主に、未払金並びに買掛金の増加によるものです。固定負債は、前連結会計年度末と比べて41百万円減少し、19億35百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比べて23億29百万円増加し、604億40百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.0%から80.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月16日に発表しました決算短信の通期の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成28年4月1日付で当社は完全子会社のフジコン食品株式会社及びフジッコフーズ株式会社を吸収合併いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しておりますが、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法は従来と同じであります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,643	12,481
受取手形及び売掛金	8,569	12,837
商品及び製品	790	941
仕掛品	319	298
原材料及び貯蔵品	5,374	6,016
繰延税金資産	436	504
その他	197	470
貸倒引当金	△3	△5
流動資産合計	29,326	33,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,679	33,833
減価償却累計額	△21,872	△22,283
建物及び構築物(純額)	11,807	11,549
機械装置及び運搬具	22,532	23,452
減価償却累計額	△15,711	△16,158
機械装置及び運搬具(純額)	6,821	7,293
工具、器具及び備品	1,857	1,873
減価償却累計額	△1,483	△1,530
工具、器具及び備品(純額)	374	342
土地	13,424	13,228
建設仮勘定	9	915
有形固定資産合計	32,436	33,330
無形固定資産		
ソフトウェア	179	177
その他	134	148
無形固定資産合計	314	325
投資その他の資産		
投資有価証券	6,726	6,509
繰延税金資産	99	-
その他	1,108	1,320
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	7,926	7,820
固定資産合計	40,677	41,477
資産合計	70,003	75,021

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,697	5,019
短期借入金	500	425
未払金	2,959	4,679
未払法人税等	1,059	773
未払消費税等	308	408
賞与引当金	560	115
預り金	150	381
その他	680	842
流動負債合計	9,915	12,646
固定負債		
繰延税金負債	605	506
役員退職慰労引当金	301	337
退職給付に係る負債	1,070	1,091
固定負債合計	1,977	1,935
負債合計	11,892	14,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	7,405	7,416
利益剰余金	49,364	51,646
自己株式	△7,024	△7,013
株主資本合計	56,311	58,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,953	1,901
退職給付に係る調整累計額	△153	△135
その他の包括利益累計額合計	1,799	1,766
新株予約権	-	58
純資産合計	58,110	60,440
負債純資産合計	70,003	75,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	45,272	46,849
売上原価	26,454	26,912
売上総利益	18,818	19,936
販売費及び一般管理費	14,632	15,370
営業利益	4,185	4,565
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	237	147
受取賃貸料	56	58
売電収入	37	36
事業譲渡益	-	52
その他	54	51
営業外収益合計	386	347
営業外費用		
支払利息	4	1
賃貸費用	13	22
売電費用	16	15
その他	2	3
営業外費用合計	36	42
経常利益	4,535	4,870
特別利益		
投資有価証券売却益	356	50
国庫補助金等収入	50	21
特別利益合計	407	72
特別損失		
固定資産処分損	36	37
投資有価証券売却損	-	2
関係会社株式評価損	-	105
特別損失合計	36	144
税金等調整前四半期純利益	4,905	4,797
法人税、住民税及び事業税	1,658	1,554
法人税等調整額	△83	△56
法人税等合計	1,575	1,498
四半期純利益	3,330	3,298
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,330	3,298

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	3,330	3,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	254	△51
退職給付に係る調整額	11	18
その他の包括利益合計	266	△33
四半期包括利益	3,596	3,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,596	3,265
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円)

製品情報	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		増減額	(参考) 前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
惣菜製品	13,845	30.6%	14,331	30.6%	485	18,263	31.1%
昆布製品	13,673	30.2%	13,595	29.0%	△78	17,569	29.9%
豆製品	10,450	23.1%	10,685	22.8%	234	13,598	23.2%
ヨーグルト製品	3,857	8.5%	4,684	10.0%	827	4,879	8.3%
デザート製品	2,367	5.2%	2,531	5.4%	164	2,999	5.1%
その他製品	1,077	2.4%	1,021	2.2%	△56	1,407	2.4%
合計	45,272	100.0%	46,849	100.0%	1,577	58,718	100.0%

(注) 増減額は、当第3四半期連結累計期間と前第3四半期連結累計期間との比較で表示しております。